

採択大学：新潟大学（強化を図る機能：①、②）

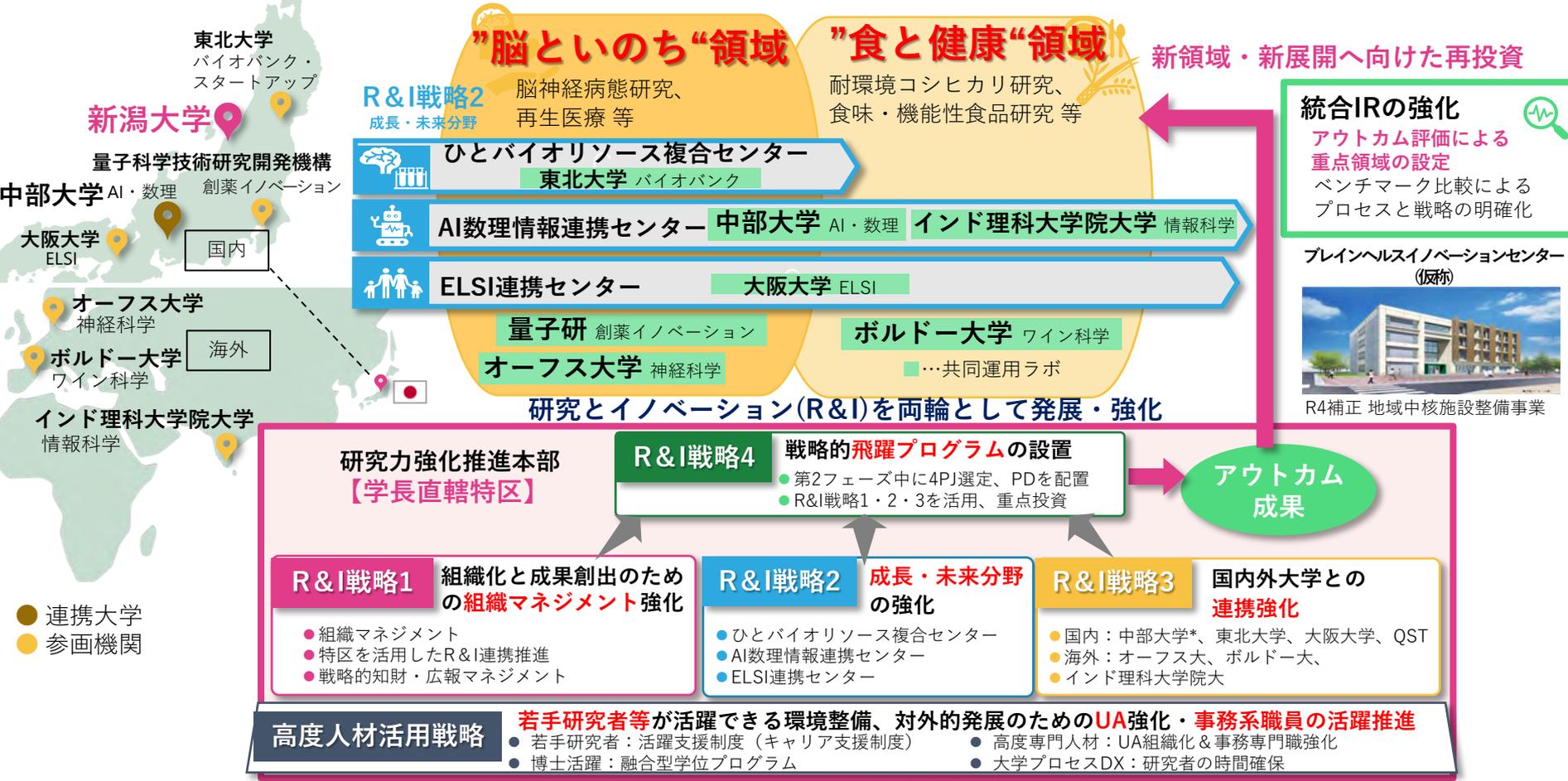
連携大学：中部大学 参画機関：東北大学、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、オーフス大学、インド理科大学院大学、ポルドー大学

取組内容の概要

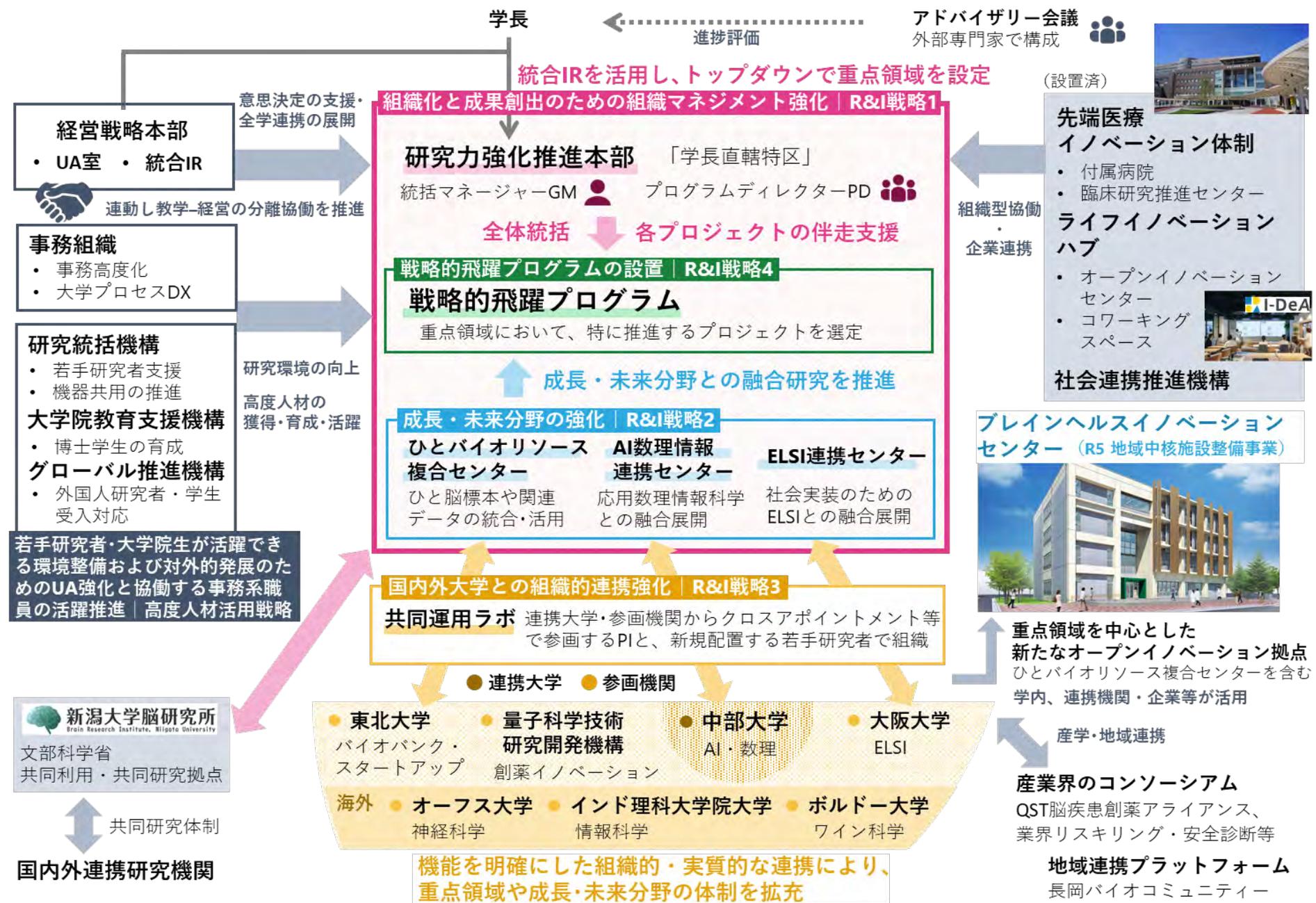
10年後の Vision

- 「脳といのち」「食と健康」を重点領域に設定し、地域が頼りにし世界に貢献する研究成果の創出と社会実装を行う
- 国内外研究機関との連携を通して3センター及び7つのラボを設置。優れた研究人材が集い活躍する場を形成する
- これらの達成に向け、高度専門人材が事務職と連動して活躍し、教学と経営の分離協働により各教職員が能力を活かせる魅力的な職場を構築する

“国際的優位性”や“特色ある分野”を結びつけた重点領域



実施体制



取組内容の時系列イメージ



戦略1 組織化と成果創出のための組織マネジメント強化

- 研究力強化推進本部の設置
- 2重点領域に研究グループを組織
 - ・GMの配置・UAの配置・増員・その他学内資源の優先配置
 - ・知財・広報の戦略的推進・産・官・学・金・地域連携シーズを組織型連携事業に発展



- 外部評価委員会による評価や実績を参考に組織や重点領域を見直し・改善
- イノベーション創出を支援する他学内組織とも協働し研究成果の収益化を推進
- UA室を中心に実施する、学内シーズや国内外の研究・社会情勢の調査及び強化された統合IRの分析にもとづき、学長主導で新たな重点領域を検討

- 本学の国際的優位性および地域の特色ある重点研究領域において、地域が頼りにし世界に誇れる成果を創出
- 国内外研究機関と連携を通して高度な研究人材が集い活躍
- 高度専門人材が事務職と連動して活躍し、教学と経営の分離協働により各教職員が能力を活かした魅力的な職場を構築

戦略2 成長・未来分野の強化

- ひとバイオリソース複合センター新設
 - ・臨床情報統合グループ・バイオリソース活用コンサル窓口・標本管理グループの設置・東北大学との連携
 - ・ひと脳標本・関連リソースの一元管理・生前臨床データとの紐づけ・国内外機関による活用の促進
- AI数理情報連携センター新設
 - ・既存2センターを本部に移設し統合
 - ・中部大学と連携しAI数理情報科学分野を新設
- ELSI連携センターの新設
 - ・既存センターの再編・大阪大学との連携拠点を設置



- 重点領域を中心に、総合知を活かした革新的な融合研究やイノベーション創出を全学的に展開
- 地方大学交付金事業（おいしさDXプロジェクト）等の活用による地場企業との連携、スタートアップ育成を通して地方創生の実質的成果を創出

戦略4 戦略的飛躍プログラムの設置

- 戦略的飛躍プログラムを4つ程度構築
- プロジェクトごとにPDを配置
- 得られた資金等を再投資・全学展開

未来社会の“脳といのち”と“食と健康”のイノベーションを創出する研究拠点へ



戦略3 国内外大学との組織的連携強化

- 7つの共同運用ラボの設置
 - ・1連携大学・6参画機関（国内3 海外3）



- 重点領域を中心に共同研究や教育等で人材交流を拡大
- 拠点形成の好事例を新たな重点領域に横展開

高度人材活用戦略

- 任期付き若手教員のキャリアパス支援制度の確立
- UA室人事制度・事務職複線人事トラック制度の確立
- 重点領域において優先的に大学プロセスDXを推進
- 融合型大学院学位プログラムの設立



- キャリアパス支援制度等の若手研究者支援施策の見直し・改善
- UA室の組織拡充
- 大学プロセスDXの全学展開